

## 4 月の安全運転ごよみ

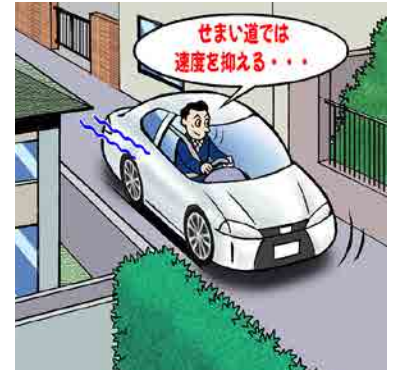
1日(水)～30日(木)…20歳未満飲酒防止強調月間 6日(月)～15日(水)…春の全国交通安全運動

7日(火)…世界保健デー 8日(水)…タイヤの日 28日(火)…洗車の日 29日(水)…昭和の日

## 4 月の安全運転目標

### 生活道路を安全に走行するために

2026年9月1日に施行される改正道路交通法施行令により、生活道路における法定速度が時速30キロに引き下げられます。施行されてから慌てるのではなく、今から「狭い道では速度を抑える」運転を習慣にしましょう。



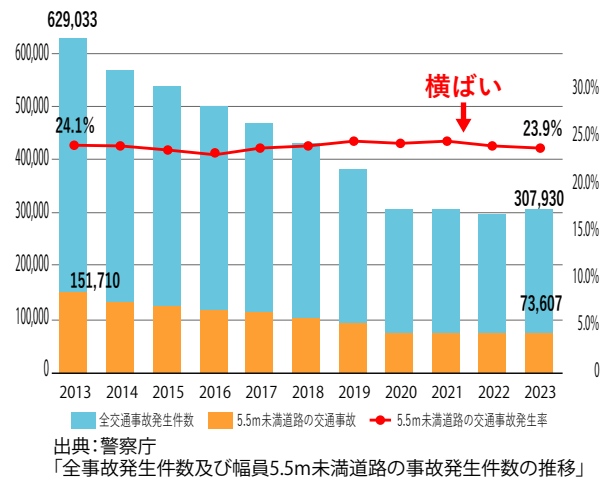
### 生活道路での事故件数は横ばい傾向に

交通事故発生件数は、10年前と比較して減少傾向にありますが、道幅5.5m未満の道路（生活道路）における事故発生件数の割合は依然として横ばいのままです。

こうした狭い道路では、歩道と車道の区別がないことが多く、歩行者の側方を通過する際には細心の注意が必要です。

現在、「ゾーン30」や「ゾーン30プラス」といった一部区域での速度抑制対策が実施されていますが、今後は法令改正により多くの生活道路が速度制限の対象となります。

現在の規制の有無に関わらず、常に速度を抑えた運転を心掛け、歩行者の安全をしっかり守りましょう。



### ○ 事 | 故 | 事 | 例

#### 小学校の前の横断歩道上で児童が事故に



2025年10月14日午後4時半ごろ、広島県安芸郡にある小学校前の横断歩道で、8歳の児童が道路を直進してきた乗用車にはねられる事故が起きました。

小学校や公園付近をはじめ生活道路を走行する際には、子どもの存在を予測するとともに、見かけた際には「飛出し」に備えるなど、細心の注意を払って運転してください。



## 安全を確保できる 低速度で走行する

### 子どもの存在を常に意識した運転を

住宅街などの道幅が狭い道路では、子どもが犠牲になる歩行者事故が多発しています。

特に「道路上での遊び」や「登下校中」に事故に遭うケースが多いのが特徴です。

運転中に子どもを見かけたら、不意な飛び出しに備えてブレーキに足を乗せ、すぐに停止できる状態を整えましょう。

また、見通しの悪い場所では「子どもがいるかもしれない」と予測し、確実に速度を落として通過することを徹底してください。



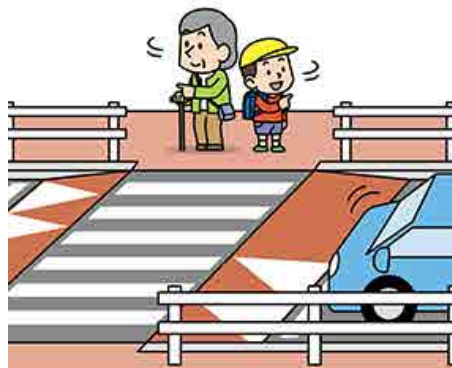
すぐに停止できる状態を整えよう

### 「ゾーン30」等での制限速度を遵守する

歩行者の安全を守るため、区域全体の最高速度を時速30キロに制限する「ゾーン30」や、段差（ハンプ）などで物理的に速度を抑える「ゾーン30プラス」の整備が進んでいます。

こうした場所は「特に危険なエリア」とであると強く意識し、制限速度を必ず守ってください。

また、これらの生活道路を「抜け道」として安易に利用することは事故のリスクを高めますので、極力走行を避け、時間短縮よりも安全最優先のルートを選びましょう。



段差（ハンプ）ではしっかり減速しよう

管理者として  
知っておきたい知識

## 生活道路の法定速度が時速30キロに引き下げられます

2026年9月1日より、生活道路における自動車の法定速度が時速60キロから時速30キロに引き下げられます。

### 【時速30キロ制限の対象となる道路】

- ・中央線（センターライン）や車両通行帯がない道路
- ・「最高速度」の道路標識や標示が設置されていない区間 等

